

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第41週(10月6日～10月12日)及び9月の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	39週	40週	41週	41週	41週
インフルエンザ	0.33	0.33	1.33	2.29	2.36
新型コロナウイルス感染症	8.67	12.33	7.33	4.92	3.72
RSウイルス感染症	1.00	0	1.50	1.71	1.63
咽頭結膜熱	●3.50	●2.50	●4.50	0.52	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0	1.50	2.19	1.93
感染性胃腸炎	4.00	4.00	4.50	1.94	3.92
水痘	0	▲1.50	0.50	0.32	0.22
手足口病	0.50	0	0.50	0.10	0.36
伝染性紅斑	●3.50	●1.50	●5.50	●3.29	1.25
突発性発疹	0	1.00	0	0.32	0.28
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.45
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.03	0.05
急性出血性結膜炎				0	0.02
流行性角結膜炎				3.13	1.05
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.25	0.06
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	1.33	1.53
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.01

急性呼吸器感染症 (ARI)	42.67	43.00	45.00	64.18	60.20
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 新型コロナウイルス感染症に注意しましょう。

長崎県の第41週の報告数は251人で、定点当たり報告数は4.92でした。地区別にみると、壱岐地区(12.67)、県北地区(7.33)は他の地区より多くなっています。4週続けて減少しましたが、今後も動向に注意しましょう。
本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【トピックス】 伝染性紅斑が流行しています。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん(紅斑)が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。
長崎県の第41週の報告数は102人で定点当たり報告数は3.29でした。第32週に警報レベル開始基準値「2.0」を超え、10週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別では、10保健所中6保健所において、警報レベルの報告数となっています。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるといわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

【トピックス】 インフルエンザを予防しましょう。

長崎県の第41週の患者報告数は117人で、定点当たり報告数は「2.29」でした。県全体では、第37週に流行の目安である「1.0」を超え、流行期入りしています。
今後の動向に注意しながら、手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、流行に備えて、ワクチンを接種しましょう。

長崎県感染症発生動向調査速報(月報)

2025年9月 2025年9月1日（月）～2025年9月30日（火） 2025年10月16日作成

☆疾病別・保健所管内別発生状況（2025年9月）

疾 患 名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										計
	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬	
性器クラミジア感染症	5	13	-	2	4	0	1	-	-	-	25
（定点当たり報告数）	2.50	4.33	-	2.00	2.00	0.00	1.00	-	-	-	2.50
性器ヘルペスウイルス感染症	2	3	-	3	5	0	0	-	-	-	13
（定点当たり報告数）	1.00	1.00	-	3.00	2.50	0.00	0.00	-	-	-	1.30
尖圭コンジローマ	0	2	-	1	0	0	0	-	-	-	3
（定点当たり報告数）	0.00	0.67	-	1.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	0.30
淋菌感染症	3	2	-	0	2	0	0	-	-	-	7
（定点当たり報告数）	1.50	0.67	-	0.00	1.00	0.00	0.00	-	-	-	0.70
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10	14	1	2	11	0	4	6	0	9	57
（定点当たり報告数）	10.00	4.67	1.00	2.00	11.00	0.00	4.00	6.00	0.00	9.00	4.75
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（定点当たり報告数）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（定点当たり報告数）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

☆7疾患のグラフ

